



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月13日

上場会社名 ワンダープラネット株式会社 上場取引所 東
コード番号 4199 URL <https://wonderpla.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 彰紀
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 高宮 啓 TEL 052-265-8792
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	1,944	△16.0	△162	—	△182	—	△329	—
2025年8月期	2,316	△5.4	△129	—	△153	—	△131	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	△129.40	—	△76.7	△10.5	△8.3
2025年8月期	△51.63	—	△19.9	△7.4	△5.6

（参考）持分法投資損益 2026年8月期 —百万円 2025年8月期 —百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	1,498	274	17.7	104.12
2025年8月期	1,984	595	30.0	233.52

（参考）自己資本 2026年8月期 265百万円 2025年8月期 595百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	54	△14	△137	1,158
2025年8月期	△310	4	231	1,255

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年8月期の業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	8.0	30	—	10	—	10	—	3.92

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	2,598,212株	2025年8月期	2,598,212株
2026年8月期	48,656株	2025年8月期	48,656株
2026年8月期	2,549,556株	2025年8月期	2,548,626株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

また、2026年10月13日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。その模様（動画）及び説明内容（書き起こし）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等の注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社は「楽しいね！を、世界中の日常へ。」というミッションを掲げ、世界中の一人でも多くの人々の日常に、家族や友達と「楽しいね！」と笑いあえるひとときを届け、国・言語・文化・年齢・性別等あらゆる壁を越えて誰もが楽しめるプロダクト・サービスを創り、コミュニケーションを通じた「笑顔」を世界の隅々まで広げることを目指しております。

株式会社ブシロードとの共同開発タイトル「HUNTER×HUNTER NEN×SURVIVOR」は、2026年2月18日に配信が開始（アメリカ地域のみ3月16日に配信開始）されました。また、第1四半期累計期間に新たに着手した有力IPタイトルの開発は、株式会社サンリオとの新作モバイルゲームの共同開発として順調に進捗しているほか、2026年8月に公表した新たな2件のモバイルゲーム開発にも着手しております。なお、当社が開発を担当していた「ジャンプ+ジャンブルラッシュ」は、2026年9月17日をもってサービスを終了しております。

当事業年度の売上高の状況については、前述の有力IPタイトルを含む新規タイトル開発及び既存タイトル運営に係る開発・運営売上高は前年同期比で増収となったほか、「HUNTER×HUNTER NEN×SURVIVOR」が配信開始以降の業績に寄与しました。一方で、「クラッシュフィーバー」や「パンドランド」（2026年3月サービス終了）が前年同期比で減収となったこと等により、会社全体では前年同期比で減収となりました。

営業利益、経常利益については、先行投資として新規タイトル開発が進捗したことや研究開発に継続して取り組む一方で、プラットフォーム手数料等の売上連動費用が減少したことに加え、会社全体のコストコントロールに努め、外注費及び広告宣伝費等を抑制した結果、売上原価、販売費及び一般管理費ともに前年同期比で減少しましたが、売上高の減収影響を補うには至らず、会社全体では赤字となりました。

当期純利益については、経常損失に加え、2022年5月1日付でユナイテッド株式会社の子会社（当時）であるプラスユー株式会社から取得した「クラッシュフィーバー」に係る固定資産（運営権）及び当社の共用資産である建物について減損損失91,090千円を特別損失として計上したほか、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額53,383千円（前事業年度は△17,560千円）を計上し、当期純損失となりました。

この結果、当事業年度の売上高は1,944,860千円（前年同期比16.0%減）、営業損失は162,097千円（前事業年度は営業損失129,648千円）、経常損失は182,175千円（前事業年度は経常損失153,522千円）、当期純損失は329,916千円（前事業年度は当期純損失131,578千円）となりました。

なお、当社はモバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末の流動資産は1,417,412千円となり、前事業年度末に比べ312,681千円減少しました。これは主に、契約資産が83,652千円増加したものの、売掛金が165,543千円、現金及び預金が96,726千円、仕掛品が82,281千円減少したことによるものであります。

固定資産は81,021千円となり、前事業年度末に比べ173,549千円減少しました。これは主に、運営権が116,666千円、繰延税金資産が53,383千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,498,433千円となり、前事業年度末に比べ486,230千円減少しました。

（負債）

当事業年度末の流動負債は718,199千円となり、前事業年度末に比べ6,707千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が61,560千円、未払法人税等が6,206千円増加したものの、1年内償還予定の社債が40,000千円、買掛金が23,195千円、預り金が10,234千円減少したことによるものであります。

固定負債は505,614千円となり、前事業年度末に比べ158,776千円減少しました。これは主に、社債が160,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,223,814千円となり、前事業年度末に比べ165,483千円減少しました。

（純資産）

当事業年度末の純資産は274,619千円となり、前事業年度末に比べ320,747千円減少しました。これは主に、繰越利益剰余金が329,916千円減少したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ96,726千円減少し、1,158,460千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、54,978千円（前事業年度は310,079千円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純損失の計上273,265千円があったものの、棚卸資産の減少額82,281千円、売上債権及び契約資産の減少額81,890千円、減損損失の計上91,090千円、減価償却費の計上46,916千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、14,280千円（前事業年度は4,135千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13,589千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、137,425千円（前事業年度は231,023千円の獲得）となりました。これは、長期借入れによる収入430,000千円があったものの、長期借入金の返済による支出367,216千円、社債の償還による支出200,209千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

当社は、2026年8月期におきましては、世界のモバイルゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、タイトルごとの業績動向を精緻に予測することが困難であったことから、業績予想を非開示としておりました。2027年8月期につきましては、投資家の皆さまへの情報提供の観点から、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算定した業績予想を開示することといたしました。なお、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

当社は、新時代に求められる「新ゲームスタジオの確立」を目指し、①有力IPホルダーとの協業の拡大、②オリジナルタイトルの新規開発の再始動、③ハイブリッドカジュアル領域における自社開発基盤の洗練の3点に経営資源を集中する方針であります。2027年8月期は、この方針のもと、新規タイトルの開発及び配信開始に注力するとともに、既存運営タイトルの収益性の回復を図る期間と位置付けております。

売上高につきましては、2026年8月期に配信を開始した協業タイトルは、継続的なコンテンツ投入及び機能開発を通じて収益貢献の維持を図ります。また、開発中の協業タイトルの開発役務の対価も2027年8月期の増収要因となります。一方、長期運営中のオリジナルタイトルにつきましては、収益性を優先した運営方針への転換に伴い減収を見込んでおり、加えて2026年8月期及び2027年8月期にサービスを終了したタイトルの影響が減収要因となります。これらにより、売上高は2026年8月期比で増収を見込んでおります。

営業利益につきましては、収益性に課題のあった一部の運営タイトルについて、2026年8月期中に着手した運営体制及び費用構造の抜本的な見直しの効果が2027年8月期を通じて寄与すること、自社開発基盤及び生成AIの全社的な活用による開発・運営の効率向上並びに人員構成の最適化を進め、人件費を中心とした費用の抑制を図ることが増益要因となります。一方で、開発中の協業タイトルの体制増強に伴う外注費の増加並びに次期以降の成長に向けたオリジナルタイトルへの開発投資及び自社開発基盤への投資の継続が減益要因となります。なお、2027年8月期より自社開発基盤に係る支出のうち資産計上の要件を満たすものを資産計上する見込みであり、当該影響を織り込んでおります。これらにより、営業損益は2026年8月期の損失計上から営業黒字への転換を見込んでおります。

経常利益につきましては、営業外費用として借入金及び社債に係る支払利息等を見込んでおります。

当期純利益につきましては、特別利益として固定資産売却益を、法人税等として住民税均等割等をそれぞれ見込んでおりますが、いずれも少額となる見込みであります。また、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる影響は、現時点で合理的に見積もることが困難であるため、業績予想には織り込んでおりません。

以上を踏まえ、2027年8月期の通期業績予想につきましては、売上高2,100百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益30百万円（前事業年度は営業損失162百万円）、経常利益10百万円（前事業年度は経常損失182百万円）、当期純利益10百万円（前事業年度は当期純損失329百万円）を見込んでおります。

（単位：百万円、△は損失）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2027年8月期（予想）	2,100	30	10	10
2026年8月期（実績）	1,944	△162	△182	△329
増減率	+8.0%	黒字転換	黒字転換	黒字転換

なお、当社の業績は、モバイルゲーム市場における競合環境の変化、新規タイトルの配信時期の変動、協業先との契約条件の見直し等により変動する可能性があり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想の前提に重要な変動が生じた場合には、速やかに業績予想の修正を開示いたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来の財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社を取り巻く事業環境を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としておりますが、現状では事業拡大のための投資に充当していくことが株主に対する最大の利益還元につながるものと考えております。

このことから、当面の間は内部留保の充実を図る方針であり、内部留保資金につきましては、将来の成長に向けた運転資金として有効に活用していく予定であります。現時点においては配当実施の可能性及びその実施時期等につきましては未定とさせていただきます。

なお、剰余金の配当を行う場合には、年一回の期末配当を考えており、配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は取締役会の決議によって、毎年2月末日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めております。

上記の方針を踏まえた上で、当期の配当につきましては無配とし、次期の配当予想につきましては業績予想及び分配可能額の状況を勘案し無配といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,186	1,158,460
売掛金	310,064	144,521
契約資産	—	83,652
仕掛品	82,691	410
前渡金	13,096	652
前払費用	32,398	27,159
その他	36,656	2,556
流動資産合計	1,730,094	1,417,412
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,224	—
工具、器具及び備品（純額）	13,207	14,841
有形固定資産合計	23,431	14,841
無形固定資産		
運営権	116,666	—
無形固定資産合計	116,666	—
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	—	4,734
繰延税金資産	82,238	28,855
その他	31,233	31,590
投資その他の資産合計	114,471	66,179
固定資産合計	254,570	81,021
資産合計	1,984,664	1,498,433

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,723	31,527
1年内償還予定の社債	200,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	308,626	370,186
未払金	118,570	115,718
未払費用	1,500	1,334
未払法人税等	9,378	15,585
前受金	13,209	14,936
預り金	18,859	8,624
その他	39	287
流動負債合計	724,907	718,199
固定負債		
社債	260,000	100,000
長期借入金	398,878	400,102
その他	5,512	5,512
固定負債合計	664,390	505,614
負債合計	1,389,297	1,223,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	575,708	575,708
資本剰余金		
資本準備金	1,183,000	1,183,000
資本剰余金合計	1,183,000	1,183,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,066,344	△1,396,260
利益剰余金合計	△1,066,344	△1,396,260
自己株式	△96,997	△96,997
株主資本合計	595,367	265,451
新株予約権	—	9,168
純資産合計	595,367	274,619
負債純資産合計	1,984,664	1,498,433

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）	当事業年度 （自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）
売上高	2,316,539	1,944,860
売上原価	1,833,460	1,534,897
売上総利益	483,079	409,963
販売費及び一般管理費	612,728	572,060
営業損失（△）	△129,648	△162,097
営業外収益		
受取利息	1,860	3,727
為替差益	179	107
補助金収入	31	2,032
ポイント還元収入	1,285	1,360
その他	9	208
営業外収益合計	3,365	7,435
営業外費用		
支払利息	12,525	20,216
社債利息	3,296	5,084
株式交付費	60	—
新株予約権発行費	—	1,935
その他	11,357	276
営業外費用合計	27,239	27,513
経常損失（△）	△153,522	△182,175
特別利益		
新株予約権戻入益	7,650	—
特別利益合計	7,650	—
特別損失		
減損損失	—	91,090
特別損失合計	—	91,090
税引前当期純損失（△）	△145,872	△273,265
法人税、住民税及び事業税	3,267	3,267
法人税等調整額	△17,560	53,383
法人税等合計	△14,293	56,650
当期純損失（△）	△131,578	△329,916

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※	656,095	35.8	614,981	42.3
II 経費		1,175,254	64.2	837,635	57.7
当期総製造費用		1,831,349	100.0	1,452,616	100.0
期首仕掛品棚卸高		84,802		82,691	
合計		1,916,151		1,535,307	
期末仕掛品棚卸高		82,691		410	
当期売上原価		1,833,460		1,534,897	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
プラットフォーム手数料 (千円)	278,509	133,319
外注費 (千円)	548,177	454,837

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価による個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	574,229	1,181,522	1,181,522	△934,765	△934,765
当期変動額					
新株の発行	1,478	1,478	1,478		
当期純損失（△）				△131,578	△131,578
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	1,478	1,478	1,478	△131,578	△131,578
当期末残高	575,708	1,183,000	1,183,000	△1,066,344	△1,066,344

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△96,967	724,019	12,852	736,871
当期変動額				
新株の発行		2,956		2,956
当期純損失（△）		△131,578		△131,578
自己株式の取得	△29	△29		△29
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			△12,852	△12,852
当期変動額合計	△29	△128,651	△12,852	△141,504
当期末残高	△96,997	595,367		595,367

当事業年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	575,708	1,183,000	1,183,000	△1,066,344	△1,066,344
当期変動額					
当期純損失（△）				△329,916	△329,916
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計				△329,916	△329,916
当期末残高	575,708	1,183,000	1,183,000	△1,396,260	△1,396,260

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△96,997	595,367		595,367
当期変動額				
当期純損失（△）		△329,916		△329,916
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			9,168	9,168
当期変動額合計		△329,916	9,168	△320,747
当期末残高	△96,997	265,451	9,168	274,619

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）	当事業年度 （自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失（△）	△145,872	△273,265
減価償却費	79,064	46,916
受取利息及び受取配当金	△1,860	△3,727
支払利息及び社債利息	15,821	25,301
株式交付費	60	—
株式報酬費用	△5,209	9,168
新株予約権発行費	—	1,935
補助金収入	△31	△2,032
ポイント還元収入	△1,285	△1,360
新株予約権戻入益	△7,650	—
減損損失	—	91,090
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△28,169	81,890
棚卸資産の増減額（△は増加）	2,110	82,281
未収入金の増減額（△は増加）	68,586	5,592
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,149	△23,195
未払金の増減額（△は減少）	△185,242	△2,032
前受金の増減額（△は減少）	△68,612	1,727
その他	△12,006	44,008
小計	△295,446	84,298
利息及び配当金の受取額	1,860	3,727
利息の支払額	△14,268	△30,951
新株予約権発行費の支払額	—	△1,935
補助金の受取額	31	2,032
ポイント還元金の受取額	1,285	1,360
法人税等の支払額	△3,540	△3,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	△310,079	54,978
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,877	△13,589
関係会社株式の取得による支出	△1,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△5,499	△690
敷金及び保証金の回収による収入	16,000	—
預り保証金の受入による収入	5,512	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,135	△14,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△281,937	△367,216
社債の発行による収入	488,960	—
社債の償還による支出	△276,000	△200,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	231,023	△137,425
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△74,921	△96,726
現金及び現金同等物の期首残高	1,330,108	1,255,186
現金及び現金同等物の期末残高	1,255,186	1,158,460

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社はモバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	233.52円	104.12円
1株当たり当期純損失(△)	△51.63円	△129.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純損失		
当期純損失(△) (千円)	△131,578	△329,916
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△) (千円)	△131,578	△329,916
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,548,626	2,549,556
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権6種類(新株予約権の数67,724個(普通株式207,908株))。	新株予約権3種類(新株予約権の数60,838個(普通株式60,838株))。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。